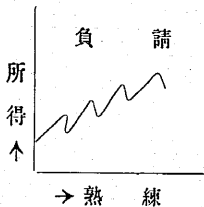
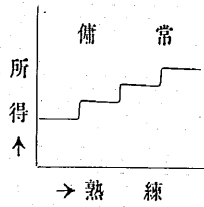


二、常備制工賃ト昇給及熟練トノ關係
 常備制ニ於テハ從業者ハ甚ダシイ過勞ヲシナイ程度デ出來得ル丈ケ働ラキ賃ノ向上ト作業單位時間ノ減少ヲ圖ル可キモノデアリマス
 而シテ其ノ熟練ノ結果ニ依リテ品質ノ向上ト工賃生産費減少ノ利益ヲ從業者側ガ分割利得スル範圍デ常備工賃ニ對シテ増額ヲナン從業者ニ增收ヲ得サセルガ普通デアリマス

三、單價請負制ト熟練トノ關係

單價請負制トハ一作業者シクハ一工程ヲ完了サセテ規定ノ品質以上ノ製品ヲ作りタル場合其ノ單位ニ對シテ決定シタル加工賃單位ヲ以テ出來上リ數ニ準ジテ支拂フノラ普通トシマス、從ツテ熟練ニヨリテ同一時間ニ作り得ル個數ヲ次第ニ増加セシメ一方作業者ガ增收ヲ得ルト同時ニ他方ニ於テハ加工賃單位ヲ減少シテ從業者側ノ利得トス可キモノデアリマス、而シテ此ノ場合ニ或ル短期間一定ノ標準所得ヲ定メ同時ニ或ル範圍ノ最高所得ヲ目標ニ置キ適當ノ期間内ニ於テハ最高所得ニ比較的ニ接近スルマデ工賃單位ヲ變更セズ、熟練ニヨリテ最高所得接近ガ一時的デナクシテ連續的デアルト認ムルニ至レバ、一面ニ於テハ工賃單位ヲ引き下げ、他ノ一面ニ於テハ標準及ビ最高所得ノ程度ヲ舊ヨリ引き上げテ次期ノ作業ヲ繼續ス可キモノデアリマス
 斯クシテ各期間ト通算シテ從業者所得ハ増加シ從業者側ノ利得増進スル事、常備制ト同様デアリマシテ勞働ガ可ナリ激シクナル程度ニヨリテ常備制ヨリ從業者ノ所得ガ多クナリマス
 此ノ當然ノ結果トシテ起ル可キモノハ從業者所得ノ變化狀態ノ相違デアリマス、常備請負者等シク熟練ニヨリテ收入ノ増加ヲ伴フノデアリマシテ常備ニアリマシテハ其ノ所得ハ一時的ノ減少ガナイト同時ニ或ル期間内ハ増加スル事ガアリマセン
 請負ニアリマシテハ或ル期間内ニ於テ漸増スル代リニ期間ノ代リ日ニ於テ一時的ニ減少シマス
 即チ次ノ線圖ノ様ニナリマス



即チ常備ハ階段狀增收トナリ請負ハ鋸齒狀增收トナリマス
 之レ何等ノ矛盾デナクシテ制度ヲ異ニスル必然ノ歸結デアリマス

四、時間請負制ト常備資金及熟練トノ關係

時間請負制ト云フモノヲ眞ノ請負制ト云フノハ適當デナク單價請負トハ其ノ趣キヲ異ニシテ居リマシテ寧ロ常備制ニ近いモノデ普通常備制ニ對シテ請負式獎勵金ヲ支給スルモノデアリマス、即チ加工賃單位ハ同一ノ作業ニ對シテモ各人皆異ナル事常備ト同ジデアリマス、而シテ各人ノ作業能率ニ應ジテ其ノ本給ニ對シテ加率支給ヲナスモノデアリマス
 從ツテ此ノ制度ニ於キマシテハ熟練ニ對シテハ定期ノ昇給ヲ以テ從業者ノ標準所得ヲ高メラレ同時ニ本給ニ對スル最高加率ヲ變更シナクトモ最高所得ノ範圍ヲ増進スル事トナリ單價請負ノ場合ト同様デアリマス、依リテ適當ノ期間ヲ劃シマシテ時間請負單位數ノ増加ヲ以テ單位加工賃ノ遞減ヲ計ラナケレバナリマセン、而シテ請負單位數ノ増加率ハ昇給率ヨリ多クシナケレバ熟練ニ依ル時間能率ノ増加ハ從業者ノミニ專有所得トナツテ雇側ニ利得スル所皆無トナリマス
 此ノ制度ヲ全ク公平ニ、合理的ニ實施スル事ニヨツテ從業者ノ所得ハ各期ヲ通ジテ漸増スルモ其ノ

代リ日ニ於テ幾分減少シ其ノ第四課ハ時間請負制デアリマス
 此ノ制度本來ノ性質ヨリシテ、過去六ヶ月以上ヲ通シテ、過去年六ヶ月以上ヲ通シテ、高率ニ接近シマシタ
 但シ最近ノ昇給ニ洩レ、此レニ依リマシテ單位數變更
 而シテ其ノ變更率ノ撰定及
 者ノ提出シタ半分以下(平均
 率ニ類スル行動ヲ取ツタ事
 然ルニ會社ハ此ノ當然ノ處
 述ノ様ナ交渉ヲ致シマシタ
 力ニ背カサレ或ハ情實ニカ
 對シテハ實ニ氣ノ毒デアリ
 特ニ旋盤部ノ態度ハ目下ノ
 スル事ナシニ)ヨリ多クノ非
 アル労働者ノ對面ヲ傷ケル能
 刻モ早ク諸氏ノ反省ヲ待ツ
 今回ノ直接行動ニ加ハラナイ
 トナキ様ニ希望致シマス